

## 2010年度 本校の研究の概要

### 1. 研究主題

#### 『確かな学力を身につけ、主体的に行動できる児童の育成』 ～話す、聞く、読みとる力をつけるための授業づくり～

### 2. 主題設定の理由

全国学力調査や標準学力調査などの分析結果や子どもたちの実態から見られる課題を克服する取り組みをしてきたが、細かくみていくとまだまだ不十分な点がある。特に、ここ数年授業づくりの視点として取り組んできた「話す・聞く」「内容を読みとる」「自分の考えを持ち、書いたり発言したりする」には依然として弱さがみられる。また、児童自らが考えて学習に取り組んだり、子ども同士の関わり方にも課題が残る。この実態をふまえ、本年度も関わりづくりをベースにして、「学力づくり」「心づくり」「地域観づくり」の3本の柱をもとに研究を進めていきたいと考える。その中でも、本年度は「学力づくり」を中心に研究を進めたいと考える。

学力づくりについては、授業を通して学力を高めることや基礎学力向上のための取り組みを継続していくことが重要である。「聞く力・話す力・関わりづくり」「読みとる力」の向上を意図した授業づくりが大切であり、昨年度全教職員で共通理解を図り作成した低・中・高学年用の読み取る力を育成するために作った学習プロセス系統表を改善しながら、引き続き研究を進めて行きたい。全学年基礎の時間が設定されているので、算数科、国語科の全学年を見通した効果的な学習方法を探っていきたい。また、小中連携のもと学力や仲間づくりについて、共通理解を深めながら取り組んで行きたい。

心づくりについては、従来から続けてきている交流体験学習などで相手の方との関わりを意識して取り組むとともに、子ども同士関わりあいながら高まりあうための構成的グループエンカウンターや全校遊び、縦割り班での作業や活動に取り組んでいきたい。児童の心に関する研究では、講師を招いての学習会を計画し、児童理解について教職員の共通理解のもとに学級経営に生かしていきたい。

地域観づくりとして、中筋の地域に誇りを持てるように、地域教材の見直しをしながら、地域の学習に取り組んでいきたい。地域を教材化していくうえでも、6年間を見通した中筋地域データベースの活用も図っていきたい。

### 3. 校内研のめざす子ども像

「確かな学力を身につけ主体的に行動できる児童の育成」

- しっかりした学力を身につける子
- いきいきと発表できる子
- 豊かな心を持つ子
- 友だちに思いやりをもって関われる子
- 自分の住む地域に誇りを持てる子

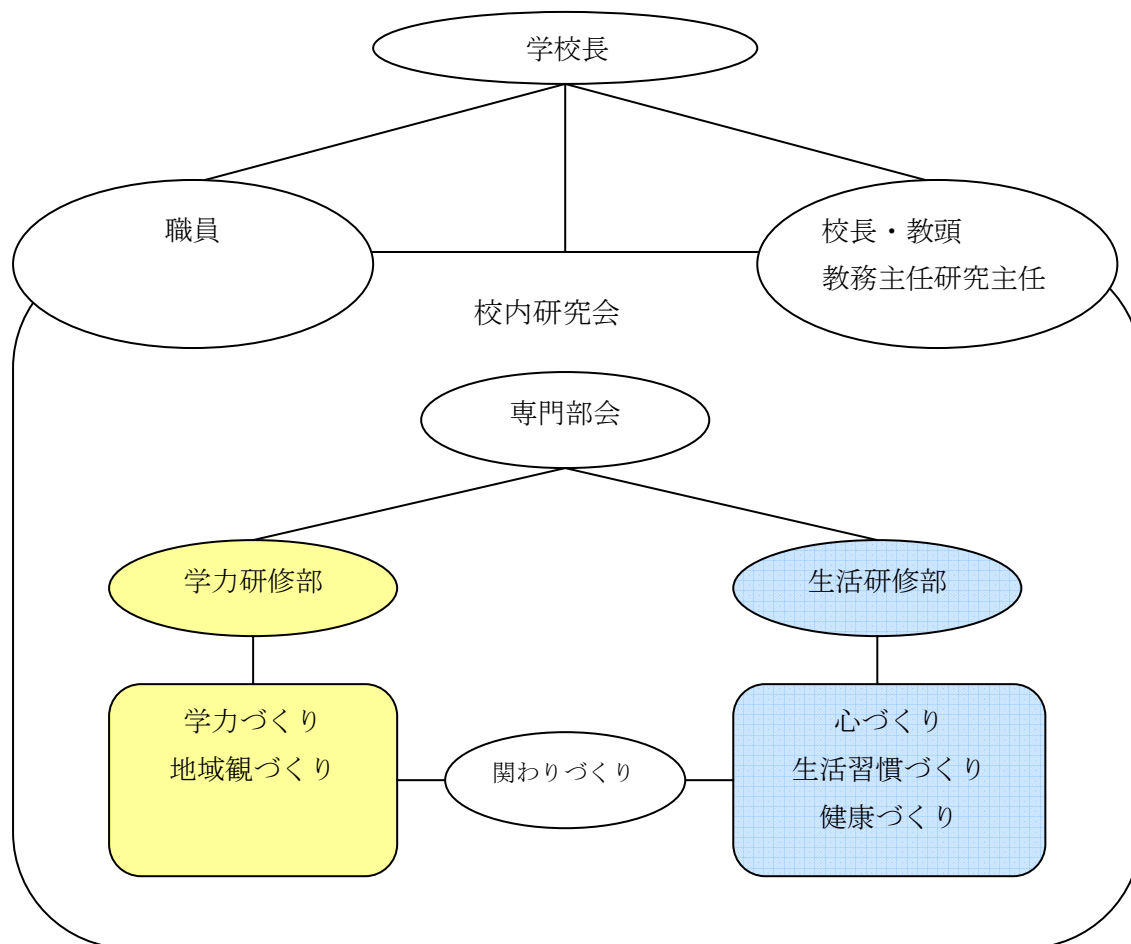
### 4. 研究内容

- ・専門部会（学力研修部、生活研修部）
  - 特色を生かしたそれぞれの活動内容を計画し、実践する
- ・授業研究（教材研究、研究授業、授業の反省）
  - 研究授業を全教員が年1回以上行う。
  - 事前研は低学年部会、高学年部会に分かれて教材研究を行う。
  - 小中相互の公開授業や小中合同授業研を行う。
  - 「聞く・話す力」「読み取る力」を育成する指導方法を日々の授業の中で研究する。
  - 授業評価を行い授業改善を図る。
  - 外部講師を活用し授業力向上をめざす。
- ・基礎学習、自主学習の研究、家庭学習の在り方
  - 漢字習得テスト（6月、2月）
  - 基礎朝会では、火曜日（漢字）木曜日（計算）に取り組む。
  - 自主学習の手引きを確認し、中学校につながる家庭学習の習慣化を図る。
- ・老人会、障害のある方々、施設利用者との交流学习の研究
- ・発表朝会（発表の仕方、感想のいい方）
- ・人権教育（地域教材の学習、交流学习、集団作り）
- ・総合学習
- ・道徳教育
- ・児童の心に関する研究　Q—Uテスト（年2回）
- ・構成的グループエンカウンター（低・高学年にわかれて月1回）
- ・生活がんばりカード

研究は原則として水曜日（14：40～16：45）

- 第1水曜日　校内研究
- 第2水曜日　校内研究
- 第3水曜日　職員会
- 第4水曜日　校内研究

## 5. 研究組織



6. 校内研究全体構想図

